

# 大湾区情報 No. 64

グレーターベイエリア情報 発行：2023年8月1日



## 【今号のトピックス】

以下のリンクをクリックすると各記事のトップに移動します。

[【香港、自動運転車両のシェアリング推進 汀九橋南行路肩を車線化】](#)

[【香港生産力促進局、新型工業化発展センター開設】](#)

[【惠州市、今年13の新型エネルギー貯蔵プロジェクトに調印 生産高は推定1,200億人民元超の見込み】](#)

## 【香港、自動運転車両のシェアリング推進 汀九橋南行路肩を車線化】



運輸署 (Transport Department) 傘下の運輸及物流局 (Transport and Logistics Bureau) は7月10日、「交通運輸に関する戦略的研究」の進捗状況を公開し、今後の交通渋滞の改善とサービス向上に向け、次世代交通インターチェンジ・ハブの建設、需要主導型の公共交通サービスモデルの導入、自動運転車両のシェアリング推進、既存高速道路の路肩の恒久的車線化など、4つの新たな方向性が提案されました。

---

運輸署は 2021 年末に交通運輸に関する戦略的研究をスタートしました。初期分析の結果、政府は香港の交通政策は公共交通機関の重視、大湾区における通勤時間一時間圏の改善、及びスマート交通の発展を目標とすべきと考えています。これら 3 つの目標を達成するため、政府は「次世代の交通インターチェンジ・ハブの構築」「『オンデマンド公共交通サービスモデル』の導入」「自動運転車両の開発推進」、「スマート高速道路管理活用への邁進」の 4 つの新しい交通戦略コンセプトを提案しています。

次世代インターチェンジ・ハブとは、主要インターチェンジに多機能施設を整備し市民のニーズに応えるとともに、パーク・アンド・ライドを通じてドライバーに公共交通機関の利用を促し、車両通行量を削減することを目指します。運輸及物流局は、計画中の MTR 洪水橋 (Hung Shui Kiu) 駅と香港深圳西部鉄路一帯を次世代の交通インターチェンジ・ハブとして開発し、クロスボーダー及びローカルの公共交通サービスやパーク・アンド・ライドを配合することで、香港－深圳間の「一時間通勤圏」のカバー範囲を拡大する予定です。また、もう 1 つの新しいインターチェンジ・ハブは、交椅洲 (Kau Yi Chau) 人工島に計画しています。

同時に、運輸及物流局は、上記 2 つのインターチェンジ・ハブにおいて「需要主導型」の公共交通サービスモデルを試験的に導入する予定です。このモデルでは、乗客が携帯電話のアプリを通じて非ピーク時間帯の移動を希望すると、バスやミニバスの運行会社はその需要に応じてリアルタイムで運行ダイヤを調整し、運行会社がサービスの質を高めることができると同時に、運行コストをより容易にコントロールできるようにします。

自動運転車の発展促進について「交通運輸に関する戦略的研究」では、香港が自動運転車のシェアリングを主な方向性とし、自動運転車のシェアリングによる移動を一般市民に奨励し、長期的には中国本土と香港間の走行モードの統合と交通交流を促進するよう提言しています。

「スマート高速道路」に関しては、政府は IoT、ビッグデータ、AI 等を通じてスマート高速道路を構築し、交通管制監視システムの強化により、高速道路の容量と処理能力が緩和されます。例えば、必要に応じて路肩を車線へ開放したり、リバーシブルレーンを設けたりすることができます。将来の 11 号線の青龍大橋

---

と交椅洲人工島への接続道路にはスマート高速道路が採用される予定です。さらに、汀九橋南行道路は、交通渋滞緩和のため、既存の路肩を恒久的に車線化するスマート高速道路パイロットスキームが実施されます。

### 【香港生産力促進局、新型工業化発展センター開設】



香港生産力促進局（以下「HKPC」）管理の「新型工業化発展センター」（New Industrialisation Development Centre、以下「センター」）が7月に設立されました。センターは企業がアップグレードや転換の際に直面する技術、人材、資源面の課題に焦点を当て、スマート製造への移行と持続可能性の向上を支援します。

香港は近年、「再工業化」を積極的に推進しており、HKPCは関連政策に全面的に協力し、企業のスマート製造への転換と経済効率の向上を支援しています。センターは、グローバル・サプライ・チェーンのデジタル化とグリーン化の要件を満たすために、企業が事前展開を行うことを可能にします。これは香港特区政府の「香港イノベーションとテクノロジー発展のためのブループリント」に示された新工業化を達成するという目標に沿ったもので、香港経済の質の高い発展を支援し、大湾区の産業チェーンの最適化とアップグレードを促進するものです。

---

新型工業化とは再工業化の成果に基づくさらなるアップグレードであり、持続可能なスマート製造を指しています。

産業用 IoT、AI、データ分析などの先進技術を通じて、企業と産業チェーンのスマート製造とグリーン化を促進し、カスタマイズ化された市場のニーズに応え、製品が工場から消費者に届くまでの時間を短縮し、コストを削減し、市場の需要をさらに満足させ、経済効率を向上させることを目的としています。

同時に、カーボンピークとカーボンニュートラルの達成という中国と香港のビジョンに沿った持続可能な発展も考慮し、設計、生産、使用、販売、リサイクルに至る製品の全ライフサイクルを通じて資源消費と環境汚染の削減を重視し、ウィン・ウィンを実現します。

### 新型工業化は新興産業のみに限らず

HKPC のチーフ・デジタル・オフィサーである黎少斌氏は、新型工業化は新興産業に限ったことではなく、伝統産業も先端技術によって生産プロセスをデジタル化、スマート化、グリーン化することで、新型工業化に移行することができるかと述べました。センターは、香港の新型工業化の実現を加速化させ、香港の技術的専門知識と企業サービスにおける豊富な経験を活用し、「メイド・イン・香港」ブランドの優位性をさらに強化することに貢献されることが期待されています。

センターの單銘賢主任は、HKPC が大湾区の 150 社以上の香港企業を支援し、マイクロエレクトロニクス、金属、プラスチック、玩具、食品、自動車、建築、バイオテクノロジー、繊維など 25 業種のスマート製造の実現に成功したと話しました。これに基づき、センターは、新型工業化を実践する香港企業の成功事例や最新の技術ソリューションを紹介し、産業界や一般に宣伝するための交流プラットフォームを設置し、新型工業化を推進のためにより多くの業界パートナーへの協力を促します。



---

【惠州市、今年 13 の新型エネルギー貯蔵プロジェクトに調印 生産高は推定 1,200 億人民元超の見込み】



7月13日、惠州市新型エネルギー貯蔵産業に関する発展促進会議が龍門県で開催され、新型エネルギー貯蔵産業の質の高い発展を支援するための多くの産業プロジェクトや応用シーンの建設を促進しました。会議では、惠州市政府及び南網儲能公司（China Southern Power Grid Energy Storage Co.,Ltd）は、戦略的協力枠組協定を締結し、13の新型エネルギー貯蔵産業と応用プロジェクトが現地で署名されました。

惠州市は広東省内の重要なエネルギー基地であり、新型エネルギー貯蔵産業チェーンが完備されており、エネルギー貯蔵企業と国際市場が密接に結び付いており、エネルギー研究とイノベーション能力を共に備えています。現在、惠州市は中国の重要な新エネルギー電池産業基地となり、新エネルギー電池産業クラスターは中国のトップ100産業クラスターに選ばれており、国内の完全な産業チェーンとあらゆるカテゴリーが集まる集積地となっています。昨年、惠州市は60GWh以上の新型エネルギー蓄電池を構築しており、生産高は866.7億人民元に達し、今年には1,200億人民元以上の生産高が期待され、中国の新型エネルギー貯蔵産業マップにおいてユニークな利点を持っています。

---

統計によると、惠州市では現在、建設中の新型エネルギー貯蔵産業プロジェクトが 30 件、下半期にスタートするプロジェクトが 14 件、予備プロジェクトが 19 件あり、総投資額は 600 億人民元を超えます。また、同市には広東省重点エネルギー貯蔵産業プロジェクトに含まれるプロジェクトも 23 件あり、総投資額は 321.4 億人民元となっています。更に、市内で建設中の新型エネルギー貯蔵応用プロジェクトは 16 件あり、下半期には 25 件のプロジェクトが開始される予定で投資総額は 55 億人民元近くに達します。

最近発表された「惠州市新型エネルギー貯蔵産業の高品質発展を促進する行動計画」によると、2025 年までに、新型エネルギー貯蔵産業クラスターの生産高は 1,800 億人民元に達し、全市のエネルギー貯蔵電池の総生産能力は 110GWh を目指し、同市の新型エネルギー貯蔵設備の容量は 300 万キロワットに達することを目指しています。

惠州市はグリーン化と低炭素への転換の戦略的チャンスを掴み、新型エネルギー貯蔵産業とその応用の最先端を進むことを目標とし、製造業の戦略実施のために、1 兆人民元クラスの産業クラスターを 2 つ構築すること計画しています。惠州市は億緯鋰能 (EVE Energy Co., Ltd)、徳賽 (Desay) などの「チェーンマスター」企業の優位性を十分に発揮し、企業誘致を行い、産業クラスターの優位性を強化し、さらにチェーンを延長・補完・強化し、エネルギー貯蔵生産システムを拡大します。

同時に、惠州市は応用に関するデモプロジェクトをしっかりと把握し、それらの実用化を加速化させることを目指しており、電力系統側、電力供給側、ユーザー側でエネルギー貯蔵設備の建設をサポートしています。最近、博羅県欣旺達「源網荷儲」（電源・電力系統・負荷・エネルギー貯蔵）一体化ゼロ炭素工業園区デモンストレーション・プロジェクト・エネルギー貯蔵プロジェクトの建設がスタートしました。プロジェクト建設完成後、電力系統の柔軟な調整能力を効果的に強化し、電力消費コストを削減し、電力消費の信頼性を向上させることができます。事前の試算によると、プロジェクト完成後、工業園は年間エネルギーコストを 7,700 万人民元節約することができ、節約率は 20% に達する見込みです。

---

## 【参考資料】

・「香港、自動運転車両のシェアリング推進 汀九橋南行路肩を車線化」  
(HKET 2023 年 7 月 11 日)

・香港生産力促進局、新型工業化発展センター開設  
(HKET 2023 年 7 月 10 日)

・惠州市、今年 13 の新型エネルギー貯蔵プロジェクトに調印 生産高は推定 1,200 億人民元超の見込み

青葉【WeChat 公式】のフォローをご希望の方は、  
右記の QR コードから登録をよろしくお願いたします。  
(WeChat アプリにて、QR コードをスキャンしてください。)

[大湾区ニュースレター特集ページへのリンク](#)

また「大湾区情報」だけでなく、中国、香港のニュースや最新制度情報も WeChat の公式アカウントに掲載しています。



=====

[最新ニュースページ](#)で過去に発行したニュースレター、及び香港・中国本土最新ニュースをご覧になれます。

ホームページと共に、SNS でも随時情報を発信してまいりますので、是非ともフォロー、いいね！をお願いいたします。



質問等お問合せ先

青葉監査法人・青葉ビジネスコンサルティング・青葉法律事務所  
担当: 新井 茂 <[s.arai@aoba.com.hk](mailto:s.arai@aoba.com.hk)>

=====